



## TKK 共通シラバス

1. 科目名	社会貢献論 I				
2. 教員名	浅野 壽夫		3. 担当大学	神戸学院大学	
4. 対象学年	2年生以上	5. 開講時期	前期	6. 単位数	2単位

<b>7. 主題と目標、授業のねらい及び具体的な達成目標</b>					
<p>&lt;主題&gt; 21世紀に入り、大規模自然災害が多発している。災害に対する緊急援助や復旧・復興援助の必要性が、益々求められている。自然災害では公的機関の救助はもとより、被災地域やボランティアの人々の力の支援を通じて、緊急、復興・復旧、防災のそれぞれのステージを継ぎ目なく進めることにより、災害に強い社会を築くことになる。本講義は、阪神淡路大震災を契機に神戸の市民を中心に設立した「CODE 海外災害援助市民センター」との提携により実施するものであり、被災現場での支援の多様性について考察する</p> <p>&lt;目的&gt; ・わが国の災害救援ボランティアを中心とした災害サイクルを通じた支援活動について学ぶ。・内容は、CODE 及び海外で活躍している NGO の活動について実際に活動している方々、地域のボランティア活動を通じて、災害に強い地域社会をどのように構築するべきかを中心に理解を深める。・ゲストスピーカーは都合により変更もありうる。</p>					
<b>8. テキスト、参考書、指定図書</b>					
その都度紹介する					
<b>9. 事前、事後に受講してほしい講義等</b>					
【事前に受講してほしい講義等】					
【事前に受講してほしい講義等】					
<b>10. 提出課題など</b>					
小論文、レポート					
<b>11. 評価基準</b>					
平常点（30%）、小テスト（20%）、期末レポートないし定期試験（50%）					
<b>12. 学生へのメッセージ</b>					
毎回出席カードを提出する・授業中の私語は禁ずる・原則、遅刻は認めない					
<b>13. 参考（ホームページ、オフィスアワー等）</b>					

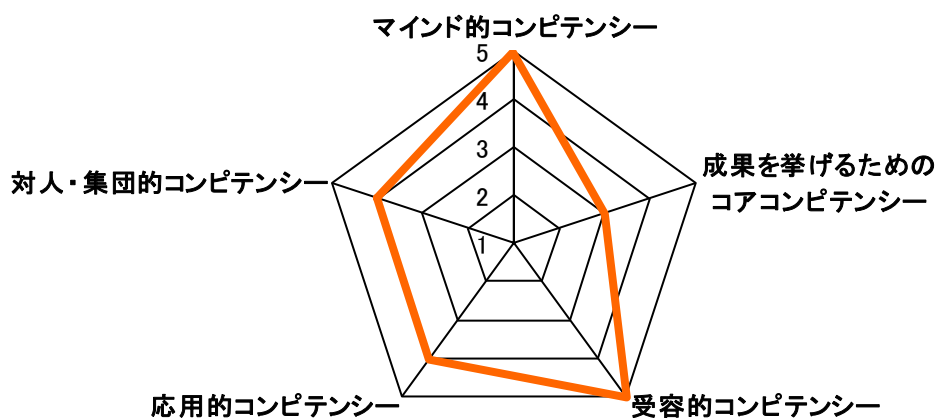
## 【授業計画】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方
第2回	CODE（海外災害援助市民センター）が担う社会貢献について	CODE の事業方針と概要説明とその方向性を理解する
第3回	東日本大震災とジェンダー	東日本被災地の復興・復旧における女性の社会的役割について学ぶ

第4回	被災地における足湯ボランティア	東日本震災被災者支援活動としての足湯ボランティア活動の現状とその意義を理解する
第5回	ハイチ地震から学ぶ	2010年のハイチ地震被災者支援の現状と課題について学ぶ
第6回	アフガニスタンと開発援助	CODE事業としてのアフガニスタン農村支援を通じて開発援助のあり方を考える
第7回	災害復興から持続的な開発支援事業	インドネシア・ジョグジャカルタ地震災害からの被災農村の復興と開発について考える
第8回	東日本大震災の教訓	東日本大震災の支援を通じての教訓を学ぶ
第9回	災害時における地域力	自然災害をマスコミの立場で取材した経験を通じて、災害に対する地域力について学ぶ
第10回	災害復興と行政の役割	阪神・淡路大震災での兵庫県の緊急支援・復興・防災の取組みを学ぶ
第11回	地方分権と被災者主体、市民主体とは？	災害復興時における住民の主体的な取組みとは何かを考える 災害復興における主体的な取組み方について考察
第12回	農業と持続的な社会	日本の地域開発事例の紹介を通じて開発途上国の支援を考える
第13回	減災サイクルともう一つの社会	災害復旧・復興を通じて被災社会を新たな社会へ構築することを考える
第14回	振り返り	これまでの講義の要点を振り返り、社会貢献の意義を考える
第15回	纏め	講義全体を通じて得た知識や情報を元に、社会の一員として何をすべきかを理解する

## 【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント